

動物園だより

No.144

平成20年4月29日発行

上半期の催し物

☆雨天延期 ★雨天中止

5月

10日(土)ヒツジの毛刈り～おとぎの国にて～☆
(先着200名に100%羊毛プレゼント!)

11日(日)ゾウさんのお宅拝見!

17日(土)ごはんですよ～!

18日(日)キリンさんとなかよし 先着30名

24日(土)飼育員の動物ガイド☆

(14:00～ワシ・タカ

14:30～カリフォルニアアシカ)

25日(日)バクさんとなかよし 先着30名

(おやつは何かな?)

31日(土)獣医が行く!★

◎3・4・5・6日 春の日曜・祝日映画会 (動物(秘)ビデオを上映)



6月

1日(日)カバさんとなかよし 先着50名

7日(土)ごはんですよ～!

8日(日)飼育員の動物ガイド☆

(13:30～ワオキツネサル 14:00～ホッキョクグマ)

14日(土)動物クイズツアー★

15日(日)ゾウさんとなかよし 先着50名

21日(土)動物のごはん作りをお手伝い 先着20名

(今日はあなただけがコックマン!)

22日(日)ヘビさんとなかよし 先着50名

28日(土)ライオンさんのお宅拝見!

29日(日)獣医が行く!★



7月

5日(土)ごはんですよ～!

6日(日)七夕スペシャル企画(お星様に願いをこめて)

12日(土)サル島ウォッチング～☆ 先着20名

13日(日)飼育員の動物ガイド☆

(14:00～インドオオコウモリ 14:30～フンボルトペンギン)

19日(土)バックヤードツアー 先着30名

(調理場・動物病院をご案内!)

20日(日)獣医が行く!★

21日(月・祝)立体お面をつくろう! 先着20名

26日(土)キリンさんのお宅拝見!

27日(日)氷のプレゼント

(動物たちに涼しさをプレゼント!人にも…)



8月

2日(土)ごはんですよ～!

3日(日)飼育員の動物ガイド☆

(13:30～ジャガー 14:00～ブラジルバク)

9日(土)動物のごはん作りをお手伝い 先着20名

10日(日)クイズラリー 先着100名

16日(土)鳥の羽根でストラップをつくろう! 先着30名

(世界で一っだけのストラップ作りませんか?)

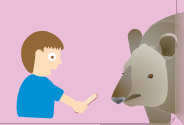
17日(日)ヘビさんとなかよし 先着50名

23日(土)カバさんのお宅拝見!

24日(日)動物の足型とり 先着30名

30日(土)バクさんとなかよし 先着30名

31日(日)獣医が行く!★



9月

6日(土)ごはんですよ～!

7日(日)飼育員の動物ガイド☆

(13:30～フクロウ 14:00～ニシゴリラ)

13日(土)ライオンさんのお宅拝見!

20日(土)ヘビさんとなかよし 先着50名

21日(日)動物愛護週間(20日～28日)

(サーキットクイズなど盛りだくさん!)☆

23日(火・祝)動物慰霊祭

27日(土)シマウマさんとなかよし 先着50名

(おやつをあげてみよう!)

28日(日)獣医が行く!★

◎14・15・23日 秋の日曜・祝日映画会(動物(秘)ビデオを上映)



～トピックス～

* 沖縄・京都キリンのお手紙交換

京都のキリン"ミライ"にかわって、沖縄にいるユメちゃん(ミライの妹キリン)に、みんなでお手紙を書こう!

応募期間: 5月31日(土)まで

* 動物人気投票 (鳥類編)

- 飼育員の応援演説 5月3日(土)
- 投票締め切り 5月6日(火)まで
- 結果発表 5月8日(木)

あなたのお気に入りの鳥に清き一票を!

* 臨時開園のお知らせ

- 平成20年9月22日(月)
- 平成21年3月30日(月)

今年秋と来年春の休園日に臨時開園いたします。

野生鳥獣救護センター設立20年

●設立の経緯

動物園では、以前から傷病鳥獣の受け入れが行われていました。昭和47年発行の「動物園だより」でも、台風20号の影響を受けたウミネコを保護した記事が掲載されています。

しかし、専用の収容施設はなく、動物園の職員が救護動物の世話を兼務していました。その後、昭和60年から63年にかけて京都府と京都市で疾病対策や治療等の救護体制についての協議が行われ、新たに医療施設を建設し、保護施設を併設することになりました。そして、平成元年に野生鳥獣救護センターが開設されました。



●事業の法的背景

野生鳥獣救護事業は、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」(平成14年7月12日法律第88号)第3条に基づいて行われています。

環境省が基本的な指針を示し、各都道府県が「鳥獣保護事業計画」を策定しており、その一つとして傷病鳥獣の保護収容が含まれています。このため、都道府県によって対応が異なる場合があります。

現在は第10次鳥獣保護事業計画(平成19年4月1日～24年3月31日)が策定されており、京都府からの委託を受けて、京都市動物園で野生鳥獣救護センターの運営が行われています。

●収容施設及び体制

京都市動物園野生鳥獣救護センターは、動物園北西角に専用の出入口を設け、受付・調理室・鳥類用救護室(屋内)及び哺乳類用ケージ2室/鳥類用ケージ7室(屋外)の計72㎡で整備されました。

救護センターは以下の体制で傷病鳥獣に対応しています。

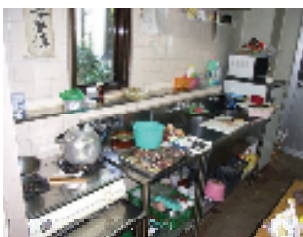
救護受付：9:00～16:30

対象動物：野生の鳥類と哺乳類。家畜・ペット・両生類・爬虫類は対象外となります。

受入地域：京都市及び京都府南部

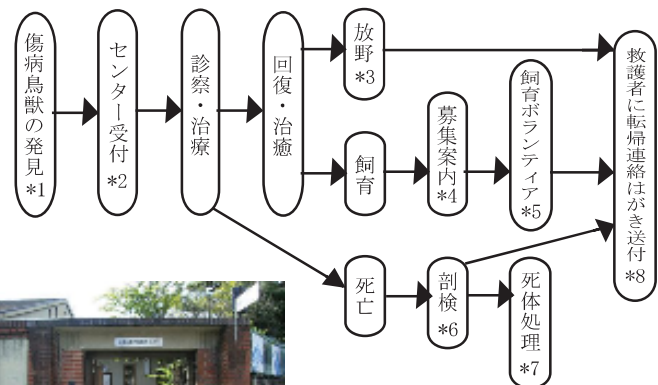
スタッフ：動物園勤務獣医師及びアルバイト2名

年中無休



●救護センターの流れ

平成元年10月の開所以来、多くの傷病鳥獣が届けられています。最も多かったのは平成12年度の鳥類61種1,017点、哺乳類7種110点の合計68種1,127点で、これまでに届けられた傷病鳥獣は16,991点(平成20年2月末現在)に上ります。その中で、自然に戻せたのが約39%、亡くなったのが約59%と死亡率が高いのが実状です。その他の約2%は、救護センターや動物園で飼育を継続したり、京都府民の方で傷病鳥獣の世話をさせていただける方に引渡したりしています(飼育ボランティア制度)。



- * 1 基本的には発見者の方に運んでいただいています。
- * 2 救護場所・状況・救護原因・動物の状態などを記録し、データ化しています。
- * 3 京都府林務事務所職員に適切な場所で放野をお願いしています。
なお、京都府指定の愛鳥モデル校で放鳥する啓発事業も実施されています。
- * 4 救護センター及び動物園内掲示板に飼育ボランティア募集案内を掲示しています。
- * 5 京都府に申請し許可を得る必要があります。
- * 6 死亡原因を調査するために解剖を行います。
- * 7 京都市斎場の動物専用炉で焼却します。
なお、調査・研究用の資料として保存することもあります。
- * 8 救護者で通知を希望された方には葉書で、その後の転帰(放野・死亡etc)を通知しています。

●救護される原因とその対応

年間を通じて、いろいろな原因で運び込まれてきており、救護者の方には原因や対応について説明させていただいています。また、年間700件ほどの電話相談を受けていますが、約25%が救護に関する相談です。

そこで、以下に救護原因とその対応を紹介します。



ヒヨドリ

◆誤認救護（ごにんきゅうご）

例年4月～8月に救護件数が増えます。これは、繁殖時期と重なっていて、巣立ちヒナが多く保護されるためです。巣立ち直後のヒナはまだ上手に飛べないため、迷子と思われてしまいます。

しかし、近くに親がいて世話をしています。人がいると警戒して親が近寄れないので、そっとしておいてあげてください。保護のつもりが誘拐になってしまうかも知れません。しっかり観察して対応してあげてください。

◆巣でのトラブル

まだ巣立っていない時期に、強風などの影響で巣から落ちたり、ほかのヒナに押し出されたり、巣が壊れてしまうことがあります。そのような状況では、まず巣に戻したり、壊れた巣をカップ麺の空容器などで補強するなどして、親鳥に世話させることを心がけて下さい。少し元気がないようなら、砂糖水やスポーツドリンクなどでエネルギー補給してあげましょう。



ツバメ

◆人工物への衝突・転落

窓ガラスや電線に衝突し、脳振とうを起したり、翼を傷めることがあります。ひどい場合には、嘴が折れたり、眼球内に出血が見られます。



カワセミ

目立った外傷がなく、目を閉じたりうずくまっている場合には、軽度の脳振とうが疑われます。数分から2～3時間で回復しますので、しばらく箱に入れ、暗くして様子を見て下さい。この際、体が冷えているようであれば、お湯を入れたペットボトルなどを湯たんぽ代わりに使い温めてあげてください。暗くなる前に元気が回復したら、保護した場所で放して下さい。暗くなった場合は、翌朝放すようにして下さい。

なお、保護された鳥の約25%は、衝突が原因で死亡しています。バードセイバー（猛禽のシルエットで鳥が近づかないようにするもの）を利用するなど、ぶつからないように工夫することも必要です。



◆粘着剤の付着

ネズミ捕りシートに小鳥やイタチがくっついてしまうことがあります。粘着剤を落とすために、まず食用油を用い、その後、中性洗剤で油分を完全に落とさなくてはなりません。この洗浄作業は、動物にとってかなり負担になります。



ウグイス

粘着シートを使用する場合には十分注意しましょう。

また、ペンキなども注意が必要になります。

◆寄生虫症



ヒゼンダニ

タヌキのほとんどは、「疥癬症」(ヒゼンダニが皮膚に寄生する病気)で衰弱して保護されてきます。もともとはイヌやネコの病気でしたが、人の生活圏と近くなり、ペットから感染したと考えられています。

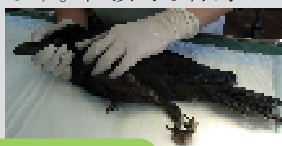
このような病気の蔓延を防ぐ意味でも、野生動物と不適切な付き合いとなるような餌やりは止めましょう。



ホンドタヌキ

◆絡まり事故

釣糸やビニール紐などが絡みつき、翼を傷めたり、指を失ったりすることがあります。直接的な行為ではありませんが、もしかしたら傷つけるかもしれないということを意識して、きちんと後片付けしましょう。



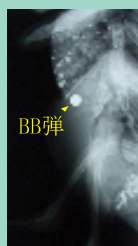
ハシボソカラス

◆その他

あってはならないことですが、あきらかに人による虐待行為で保護されることもあります。ドバトでは空気銃の標的にされ、胸にBB弾が打ち込まれていたことや羽を切られ飛べないようにされたたてたこともあります。これは絶対にしてはいけない行為です。



ドバト



BB弾

●今後について



ホンシュウジカ

救護活動は、助けたいという愛護の気持ちによる人道的な行為と、希少種保護や鳥インフルエンザなどの感染症や環境のモニタリングに貢献できるという公益的な行為の二面性を合わせ持ちます。

この二面性を適切に調和することで、より効果的な救護活動につながります。

今後は、地域の動物の現状を通して、野生動物や環境について考えるきっかけ作りを進めていければと考えています。そのために、多くの皆さんの御理解と御協力をお願いします。



ホンドフクロウ

ZOOスポット 62

今回は、野生鳥獣救護センターの担当獣医になって3年目、和田晴太郎さんにスポットをあててみました。

平成8年5月に配属となり、あっという間に12年が過ぎ、気がつけば2度目のネズミ年を迎えています。

京都市に就職するまでは、青年海外協力隊に参加し、パラグアイでウシやウマなどの診療に携わっていました。

配属当初は、先輩獣医師の仕事ぶりから、この仕事の幅広さや奥深さを感じました。そして、今の自分に出来ることは？と考えたとき、ポリバケツの中で眠る骨格標本用に保存された動物たちに出会いました。それというのも、大学時代に解剖学教室に所属しており、骨格標本を作った経験があったからです。

この仕事が私にとっては、動物園人としての原点となっています。今では骨格だけでなく皮革パネルや卵殻標本なども手がけています。平成15年は、京都市動物園100周年という節目にあたり、あらためて動物園の歴史や成り立ちを認識するとともに、所蔵の標本類を整理し、それらを活用した企画・展示なども実践しました。今後、さらに発展させていけたらと考えている仕事の一つでもあります。さて、配属2年目からは、飼育動物の担当獣医師と

して診療や検査を行うようになりました。しかし、分からないことが多く、飼育員から個体ごとの観察ポイントを教えてもらいながら、少しずつですが対応出来るようになったと思います。それでも、生と死に直面するたびに、家畜やペットとは違い最後まで弱さを見せない野生動物に対する治療の難しさを痛感させられました。そして、そのような経験を次に生かすことが大切だと感じ、そのために自分の経験としてだけでなく、多くの人に伝えていければと思います。動物園は動物を展示するだけでなく、環境教育を実践する場でもあり、園内で講演をさせていただく機会がありますが、「伝える」ということは難しいですね。

現在は、野生鳥獣救護センターの担当獣医として、傷病鳥獣の治療を行っています。運び込まれる動物たちを、少しでも多く元気にすることが出来ればと考えています。そして、保護された動物たちを通して、いろいろなことを皆さんに伝えられるよう心がけていきたいと考えています。ネズミ算といわれるように、一気に経験や知識を増やすことは出来ませんが、好奇心・探求心を持ち続け、すり減りながらも伸び続ける、ネズミの歯のように伸び続けたいと思います。



できごと

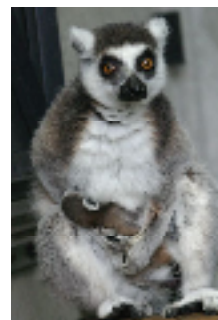
安らかに



★平成20年2月4日、キバノ口のテンメン(オス)が肺炎のため死亡しました。当園生まれの13歳でした。昨年、功労動物表彰を受け、長寿記録を更新中だっただけに、とても残念です。

誕生！

☆3月1日ワオキツネザルの赤ちゃんが生まれました。ライチにとって初めての子育てです。上手にできるかな？と飼育員の心配をよそに、大事に抱えている姿を見てホッとしました。「コケモモ」と名付けられ、これからの成長が楽しみです。



『誕生当日撮影』

新しい仲間

は虫類館

- ・セイブシバナヘビ
- ・パンケーキリクガメ
- ・カリフォルニアキングヘビ
- ・ヨツユビハリネズミ



『パンケーキリクガメ』



『ヨツユビハリネズミ』

鳥の仲間

- ・トモエガモ (福山市立動物園から来園)
- ・ショウジョウトキ
- ・ベニジユケイ
- ・シロトキ
- ・パラワンコクジャク (旧キジ舎以来、16年ぶりの飼育です)
- ・フサホロホロチョウ



『トモエガモ』



『パラワンコクジャク』

寄付のお知らせ

ありがとうございました

京都東ロータリークラブ様から書籍を、岡村 純一様から木彫りのチンパンジーを寄贈していただきました。

- 第145号の発行は平成20年7月1日(火)の予定です。
- 定期購読を希望される方は、80円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申し込み下さい。

動物園だより No.144
発行所 京都市動物園
京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内 TEL075(771)0210

